

郷愁のなかの神戸

森茂子
（二科会会員）

今ひき出しの中に少し色あせた封筒と便箋が何種類か入っています。これは昭和十五年頃大丸の南側の居留地にあった中国人のお店で母があつらえたものなのです。

その頃私達の家族の日曜日は生田神社の南にあつたハイウェイや南京町の第一楼などで昼食をとりその後父はきっと元町の入口にあるプラジレiroでコーヒーをのります。このカフェはガラスぱりで観葉植物が沢山おかれ中央のらせん階段が吹きぬけの二階へ続きます。又しやれた名前のレンクロ

フォードとかレヤア商会と云う店が西洋の雰囲気をそのまま伝えていました。天井の高いうす暗い店内には長く巻かれた布地が机の上いっぱいに並べられ母と店の人の悠長なやりとりの間私はかくれんぼでもする様に広い店内を歩きました。

後年テレビジョンで見る外国の白黒映画の中にこうした情景を度々みつけ、その度に自分がその中に入りこんでしまう様な不思議な思いをくり返したものでした。そし



オリジナル絵はがき「旅のノスタルジイ」より「トアロードの午後」

て外国に旅立つ叔父を見送り、又出迎えた港の光景も忘れられないものです。デッキには着飾った人々が花束を抱えテープがとび、楽隊の奏でるメロディは物哀しく子供心にも遠い国々への夢をかきたるものでした。これらは陽だまりの中で過していた様な少女時代への郷愁であり、時には胸の痛くなる様な思いもあります。

新しいものは旧くなり旧いものは又新しいものを生み出してゆ

く。昔港から流れこんだ世界の文化が、この土地に根ざし次第に神戸というはつきりとした顔を持つようになりました。

今神戸の街に出てみると何と美しい事でしょう。道路も整備され新しい建物としやれたお店の続く坂道も幅広い感性溢れる活気にも驚くばかりです。でも一寸横道に入ると季節にはざくろの実が頭上にたわわに実り、ひつそりと建つ異人館は表通りの美しく手入れされたそれより一そう実在感が有ります。

デッサンがしつかり出来ていれば表面的なものは自由でいいのではないか、あまり画一的な造られた街になりすぎないでほしいと希望い乍らスケッチに歩いています。

●オリジナル絵はがき&カード「旅のノスタルジイ」
タルジイ・取扱店、丸善神戸元町店、まぜらんOPA店、日本橋店（東京）、河原町店（京都）、心斎橋店（大阪）、海文堂書店、芦屋大丸他。

ミュシャのある ライブラリー

山本
芳樹

（神戸同月堂社長室参考
ライブラリーギャラリー館長）

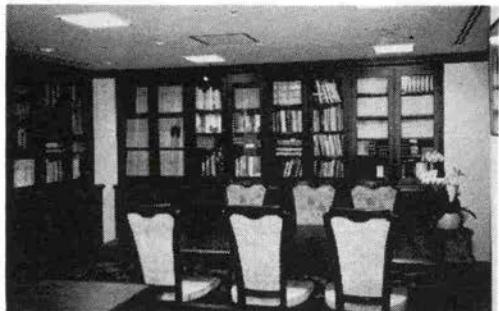


三月三日にオープンしたポートアイランドのホテルゴーフルリツツの15階にファションライブラリーが開設されました。

ライブラリーの入口の両側には世紀末パリで活躍したアール・ヌーボーの巨匠ミュシャの版画が飾られ室内はアンチックな書斎風にアレンジして落ち着いた雰囲気で本を見ていただけるようになります。しかし図書室自身は約60m²のこじんまりしたスペースです。で、収納本も現在約五、〇〇〇

冊、内訳は服飾関係約二、七〇〇冊、関連美術約一、〇〇〇冊、その他約一、五〇〇冊で、五年後には約一万冊を目指しています。開館は現在正午から夜九時まで、ホテルにお泊りのお客様は自由にご覧いただき、一般の方は会員制でお願いしていますが、今のところご入会の方も順調で、ホテルの中のライブラリーという珍しさも手伝つてか連日見学の方も絶えません。

ホテルにライブラリーという発想は神戸風月堂の下村光治社長の



欧洲調の落ちついた一室

アイデアで、まだ日本では珍しいのではないかと思います。ファッショントリニティ都市神戸にふさわしい、また美感遊創の新しい時代のニーズに応えるにはホテルにもこんな施設があつていいのではないかと考えた一つの試みだと思います。

二年前に下村社長からファッショントライブラリーの話を受けた時、これは面白いと大賛成したわけですが、しかし考えてみると一口にファッショントリニティと言つても、狭

り何がいいか、何が本物かを判断するのは各人の感性や美意識ですから、皆さんの感性や美意識を養つていただきために役立つ本がいぢらんないのではないか。ではその本とは何か——ということからスタートしました。

勿論中核は服飾関係本ですが、関連美術に力を入れ、先ず日本人の伝統的な美意識を芸術性豊かに表現した「琳派」、さらにその美を継承した「浮世絵」。そしてこの浮世絵の影響を受けて大きく開花した西欧の世紀末藝術、特に華麗なアール・ヌーボー、そのあとアール・デコ等の関係本を中心

に収納しました。

その思い入れの一つの催しが開設記念の七週に亘る連続講座「現代の美意識を世紀末に探る」です。果してそれがどのように皆さんに受けとめられか期待しています。

神戸に映画文化を！

小林 義正
（神戸映画サークル
協議会委員長）



イドル映画もいい、アクション映画もあつていい、だけどそればかりではつまらないというのが映画ファンの本音である。ここ数年、神戸映画サークルの例会作品に未公開作品がふえたのもそのせいである。しかし、月に1作品しかやれない神戸映画サークルが、神戸映画フェスティバルとしてアジア映画8本を上映し、好評を得た。

そして、今年は第2回として、市制100周年に因み、港を舞台にした16本を、台湾のトップ女優の陸小芬さんははじめ監督、原作者など多彩な顔ぶれの講演、対談などを予定している。

昨年のアジア映画上映に対して多くの人が日本映画がもつっていた輝きを見い出し、水準の高さを再認識しており、新アサヒ劇場の「芙蓉鎮」上映や、オープニング公開した「青春スケッチ」が大阪で劇場公開されるなど、私達の運動が着実な広がりを見せていく。

また、新アサヒ劇場が単館ロード作品を積極的に上映することでの期待と支持が高まり、観客数を増やしていくと聞くにつけても、映画と観客との蜜月時代の再来めざして、今後とも活動したい。



陸 小芬さん

現在、新開地はさびれ、往時を偲ぶよすがもないが、映画人口をとつてみてもその当時の十分の1に激減しているのが実情である。

そして、大阪までくるが、神戸には一向にない映画群……。ア

△その116△

京都府立京都文化博物館

—京都三条に文化の新しいコア誕生—

嶋田 勝次

（神戸大学建築学科教授）

京都千二百年の歴史の厚味は当然神社仏閣の隨所にその反映が現われているが、街中にある明治近代建築にもその面影を見出すことが出来る。

先年その保存問題で物議をかもしていた三条通りの中郵便局はその北側の何割かは新築の建物にとって代ってしまったが、通りに面する部分は、きちんと保全されていて、ほっとした。

この三条通りの何軒か東側にはもと日本銀行京都支店の明治三十九年竣工の建築がいち早く保全されていて、昭和四十五年に国の重要文化財となり、平安博物館として二度目の役割を果していったものである。この建築は日本人建築家の大ボスとして君臨しつづけた辰野金吾大先生の作品であり、日本各地に多くの足跡を残しているがこの建築は赤煉瓦と白花崗岩の横縞との調和がみごとに威厳まで保ちつづけているものであった。

昨年秋には更にこの北側の高倉通り側に地上七階、地下一階の建築が新設されて、京都府立京都文化博物館として三度目の奉公とな

ったのである。そしてこの旧館は博物館の別館として、考古と民俗の保全と展示の部屋として活用されている。

増築新設の新館は、六階の和室展示場と五階の洋室展示場には京都らしさをアッピールする展示が行なわれている。四階には特別展示室があるし、三階には美術工芸



▲京都府立京都文化博物館

や、阪東妻三郎の「牢獄の花嫁」なども予告されていて、一層興味をそそられる。

神戸では一昨年春、映画の日本発祥の地を記念して、神戸市民を中心募金を集めてメリケンパークに巨大な映画の記念碑モニュメントを設置したのだが、京都では生きた日本映画の上映が進められていて、さすが日本における早い近代化の火が消えずの感が印象付けられて来た。

もう大分旧聞になってしまったが東京の国立近代美術館に所蔵されていたフィルムライブラリーが失火で大分重要なフィルムが消失したとの報に接したのだが、京都では近代の生きた伝統が息付いているのは嬉しい。以前広島で図書館のフィルムライブラリーを拝見して、神戸にこれ以上のものを！と思つてはいたので、この京都を見たのは嬉しい。以前京都の日本映画に負けない神戸らしさと共にある外国映画を対置させることもあってしかるべきではないかとも思ったのである。

この旧館と新館をつなぐ一階の中庭に面して喫茶室がある。のんびりとコーヒーを楽しみながら、昔この空間は銀行の別棟の金庫室であり、この洋風家具は、西欧でゆつたり使われて来たものかなあと想像をめぐらせたりもしたのである。

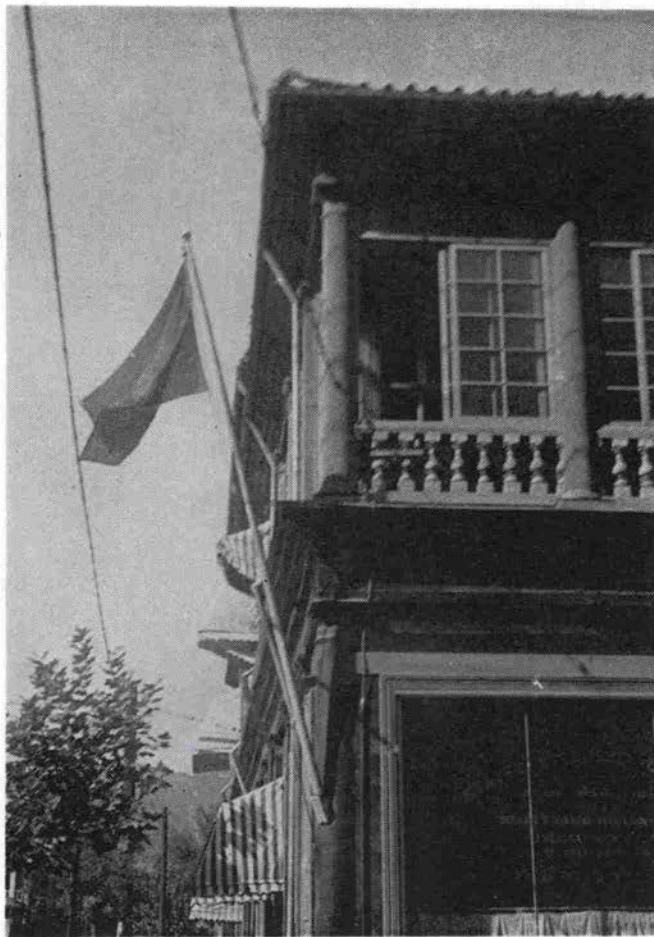
旗とクルマ

文・写真

林田重五郎

〔元・新聞記者〕

半世紀前の旧居留地で、もっとも居留地らしい美しさというと、まず窓の外側に三角形でしま模様が下がつていた日おおい。その一例は第1回の始めに写真を大きく扱ってもらっている。それに次ぐ美しさは旗である。



A・旧居留地のナカ町、東西の通りのまん中のあたりにひるがえっていた旗2つ。どこの国旗か、どこの社旗かわかららない(昭和11年夏撮影)

◇ 旗

この53年前に撮影した写真は、カメラのテストを頼まれ、目的もなくパチパチ居留地内を写して

回わったものだが、旗を特にねらったわけでもないのに、意外にもたくさん写っている。いろいろな国の旗、外国会社の旗、当方無学でどこの国旗

かハツキリ説明できないのが情ない。

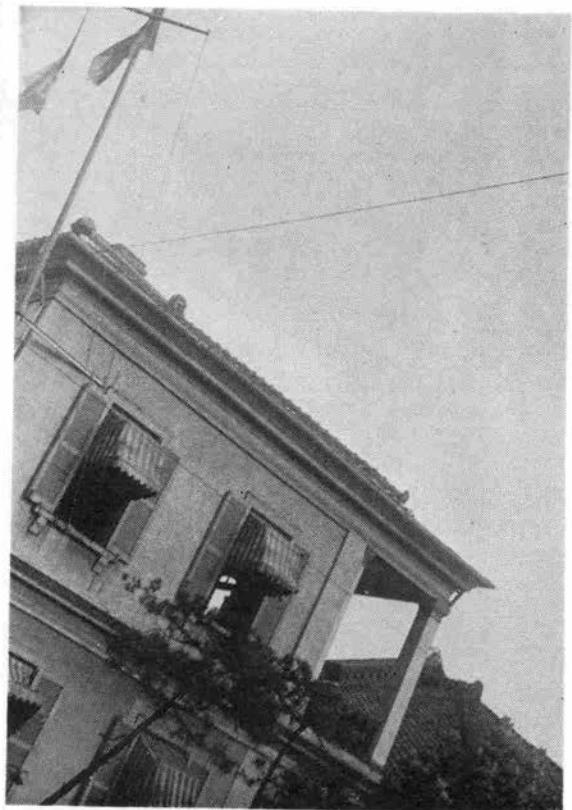
まず写真Ⓐ、居留地のほぼまん中を東西に走つてゐるナカ町の、中央あたりでとつたものだが、十字の旗竿で、屋根の上高くひるがえつてゐる二旒(りゅう)。面白いので、カメラを斜にしてねらつたのは名案だつたが、肝心の上部が切れたのは大失敗。

次は写真Ⓑ、ナカ町のひと筋南の東西の通り前町が、南北に走つてゐる播磨町の交わる東北角が16番地。この旗はその建物ではないかと思われる。



▲B・旧居留地ナカ町のひと筋南が前町(海岸通りのひと筋北)、この東西の通りと南北に走つてゐる播磨町の交わる東北角が16番地。この旗はその建物ではないかと思われる。

▶C・旧居留地東部の江戸町、ナカ町角と思われる。(いずれも昭和11年夏撮影)



町と交わる東北角が16番地。フィルムのこの次に16番地の門柱が写つており、その窓ワクの図柄が一致するので、この建物ではないかと思われる。その角に、良い姿で旗がなびいている。窓の日おおいのシマ模様の彼方には市背の山が望まれる。平凡だが好きな1枚である。

写真Ⓒは、ナカ町を東へ歩き、京町を越え江戸町の角あたりの建物。玄関の中央から立派な旗竿が出て、すばらしい旗を垂らしている。旗の模様でどこの建物かお判りになる方もある。旗の右上の4分の1にイギリスの図柄が見える。そして窓には文字がある。天眼鏡でいっしょうけんめいに見たが小生年をとりすぎて読めない。

◇ クルマ

そしてこの写真の中央の、玄関前のクルマの形がなんともいえない。50年前の車の上品さを身にしみて感じさせてくれる。当時の自動車の数はも

ちろん今よりウンと少なかつた。われわれ新聞記者も、事件があつて乗るのは契約してあるタクシーワーク。自家用車を操っているのを各社合わせても記者ではたしかただ1人だった時代である。

旧居留地を走る数も少く、もちろん99%以上ほとんどが外車だった。黒色のどっしりした感じが多かつたようだ。それだけにこの車の風格はすばらしい。

写真⑩は、そのナカ町を東へ京町筋との十字路で渡つたあたり。馬のひく荷車が2台続いて来

る。あのころの日本ではトラックがまだ少なかつた。

左の方には自転車と、白色の荷物を積んだりヤカーを引く自転車が見える。

そして写真⑪、ナカ町をさらに東へ、東町あたりで商館の玄関に大砲が飾られていた。その前に人力車が1台。主人か、雇われ主が館内で仕事の会談をしているのであろう。たしか、あこの居留地で人力車の数は多かつた。彼方に望めるのは東遊園地であろう。



▲D・旧居留地ナカ町から東へ歩いてゆき、京町筋を渡つたあたりではないかと思う。

E・旧居留地東部の東西ナカ町角あたりか。向こうに見えるのは、東遊園地であろう。▼



□トランペット片手に、ブラジル一人歩きへ19へ

夢のマイ・ホーム

絵と文

右近 雅夫

（在ブラジル・サンパウロ）



緑の丘の上に白い壁をめぐらせた彼の家の敷地は想像していたより広く、ゆったりした庇は幾つものハンモックのぶら下したテラスに、さわやかな影を投げかけていた。サンパウロ州奥地のブレジデンテ・ブルデントに住む家の弟が家を新築し、前から招待されていたので、去年のバスクア（イースター）の連休を利用して、室内と息子と三人で行って来た。義弟のフランス・スコを僕達は「キコ」と言う綽名で呼んでいるが、口腔外科が専門でブルデントの町で歯科医院を開業している。僕は冗談まぎれに「凄く儲けたんだなあ、こんな立派な家を建てて……。」といったところ、「お前も近い内に自分の家が買えるぜ、五月のバースデイは新しいアパートが出来るよ！」と笑いながら答えた。

ブルデントからサンパウロに帰つて翌日、僕の末の妹が電話をかけて来て、「娘のエリザが昨夜、兄さん一家が白い壁にテラス付きの豪華なアパートに引っ越した夢を見たよ。」と話した。

結婚して十四年間我々一家は、サンパイオ・ヴィアナ通りの寝室二つにサーラ、台所、風呂場に

小さな女中部屋の付いたアパートを借りて住んでいた。地階のガレージの便利も良く、何よりもインフレで十四年間も住んでいると只同然の家賃だったので、それを良い事にしてずっと居坐つていた。但し息子が十二歳になると、ボロ家だからと言つてクラス・メイトが家に遊びに来るのをひどく嫌やがつた。上流階級の子弟の通つている学校にやつてるので、子供がてらコンプレックスを抱くようになつたのだろう。ところがブルデントから戻つて一ヶ月も経たない内に、或る日突然裁判所を通じて家主がアパートを明け渡してくれといつて來たのである。

ブラジルのインフレは有名だが、新しく就任したサルネイ大統領が物価凍結令を発布した直後の事であった。全ての物価が凍結され、銀行利子が下され、一時的にせよインフレがゼロになつたのである。家を追い出しに喰つた事をバンドの仲間に話すと、経済事情に詳しいフェルナンドが、「今度のブラジル経済は丁度一曲演奏し終えて次の曲が始まる迄の休止符の様な状態だ、不動産を買うには又と無いチャンスだよ。」と教えてくれ

た。僕は室内と相談、彼女の父親からもらった近郊アチバイにある家と土地を売って僕等のアパートを買おうと話がまとまり、家を売りに出すと同時に、新聞広告を見てアパートの売り物を探して歩いた、然しながら手頃なのが見つからないでもたもたしていると、息子のマサラズイニオが、「毎朝スクール・バスで通るところに、パパの好きそうな白い壁にテラス付きのアパートが売りに出て居るよ！」と言ったので、室内も僕も半信半疑で見に行つた。成る程それは長年僕が夢に見ていた、地中海式建築で僕は一目でほれ込んでしまつた。

「家が売れてからでないと絶対に契約なんかしたらあかん！」と言う父や弟、妹の反対を押し切つて、僕一生一代の勇気を出してアパートの入金を



テラスで室内のマリアと

してしまつた。ところがすぐに売れると思ってた家が、アパートの支払い期限が迫つて来てもなかなか売れず、僕は段々心配になつて來た。そうした或る日、そのいきさつを室内から聞いたアミゴのレナトが、「何故銀行で借金しないのか。今は利子も安い家が売れたら返せばいいじゃないか？」自分でよければ保証人に成つてあげよう…。」と親切に言つてくれた。彼は日本なら日銀に相当する中央銀行に勤めているので、銀行の借金もうまく行き、アパートの支払いも済ませた。そしてそれから二ヶ月後にやつとアチバイアの家が売れたが、その日は丁度亡くなつた家の母親の命日であつた。新政府の物価凍結による新経済政策の破綻がその直後から、そろそろ現れ出した。まず銀行の個人貸し出しがストップ、市場に商品が不足、アジオを払わなければ何も買えなくなつた。それに引き続き不動産は暴騰、銀行利子は、月二十パーセントと恐ろしいインフレの再来だ。

引っ越しの前日、リベロンから家の妹のアンナが手伝いに来てくれ、電話局に行つて電話の移転手続きをしてくれた。「こんな番号に変つたけれど…。」と言って新しい電話番号を見せられて僕は驚いた。下の四桁が3674、僕が少年期を過した日本の戦災で焼けた鴨子ヶ原の家の電話番号と同じだった。

それから一年、僕がテラスの片隅にある花壇の手入をしていると、横で家のマリアが言つた。「夢のマイ・ホーム！ だけどあの時主人が決断を下していなかつたら如何なつていた事でしょ。」僕は苦しかつた時、何時も僕を励ましてくれた母の言葉を思い出した。「男は一生の内、何度か勇気を振り起さなければならない時があるよ…。」

東門の夜は更けて…

ヒマナシ4、27周年 言いたい放談

メンバ／土居二郎・植原文三
西垣道生・福田幸雄



K O B E

・コーラスグループ「ヒマナシ4」を結成して、27年

になるが、そんなに年とったとおもわないが：

・昭和59年にサンTVの歌番組で、優勝したとき、キ

ダタロー氏が、「20年もやつていたら、一人くらい死んで

るのがふつうや」と笑わせていたね。

そもそももの出会いは…：

・グループを作ったのは昭和35年頃。コーラスブームの

とき。ダークダックスやマヒナスターズなどがデビュー

して、三宮にもうたごえ喫茶ができた。

・音太生がペイトで歌の指導をしてね。

・ロシア民謡などをみんなで合唱したり…

・うたごえ喫茶で私たちがコーラスをやつたら、あとで

店のオーナーがリーダーに「お前たちより上手じゃない

か」と叱つていたね…：

・そういえば、大阪の北野劇場のうたごえ喫茶で、5日

間出演して、はじめてギャラをもらつたね。一日五百円。

・表の看板が、「ヒマナ・シスターーズ」となつていて、

女性コーラスとまちがえられてね（笑）

練習はどこで？

・土居歯科の診療室がたまり場で、よく徹夜したね。

・昭和30年代は、三宮も発展途上で、キャバレーやナイト

の自宅で録音したね。

・カラオケコードがまだないから、インストルメンタ

トクラブがどんどん出来た。

・当時、プロ歌手が生バンドで歌つていて、客も聞き上

手だったねえ。

・あるキバレーのマスターが歯の治療にきて、コーラスのテープを聞いて、是非来てくれというので、飲みに行つたら、ショータイムにファンファーレで、「今、神戸で活躍中の…」アナウンスがあつて、まんまとショウ

に出されたことがあつたね。

・しかも、飲み代払つてね。（笑）

・新開地のスタンドバーにもよく歌いに行つたね。

・昭和40年代は、のど自慢によく出場した。

・テレビがまだ白黒だけで、生放送の時代だ。トリオこいさんずや藤田まことがCMにててたね。素人名人会も西条凡児さんが司会の頃で、年間名人賞をいただいた。昭和50年代にはいると、カラオケ時代だね。

・「ヒマナシ4」も、この辺で自作テープを作ろうとい

うことになって、昭和49年から54年頃にかけて、土居さ

ルから選ぶのが大変だった。

・ある時、ミノルホンのLPでカラオケを見つけて、それからカラオケレコードを集めまくった。LPで100枚近くもつていてるよ。

・そのうちに、Snackbarで8トラのカラオケテープが流行りだした。

・55年頃から60年代は、カラオケスナック巡りだね。

・Snackbarで歌うのも、コーラスでやるのは珍しい。

・ムード歌謡コーラスだから、ネオン街にぴったり。

・お客様の歌に合わせてハモるのが楽しくて…

グルーブ結成25年目でレコードデビュー

・昭和62年7月に歌手の神戸のター坊の歌謡コンサートに出演させてもらったのが縁で、作曲家の竹田喬先生に曲をつけてもらったのが、「東門ブルース」と「そんなに泣くなよ」で、10月の25周年コンサートで発表し、63年2月にキングレコードから全国発売したわけです。



▲25周年記念パーティーのよう。ファーストバブにて。

・レコードのジャケット写真だけど、これは土居さんが撮ったもので、大変ムードがあるね。

・普通なら、歌手の写真をだすけれど、4人の写真だしたらレコード売れないから。(笑)

・漫画家の高橋孟先生が似顔絵をかいてくださった。

・4人あわせて220歳でレコードをだすのは洒落ていて面白いやないか。熟年のはげみになると…

・ほんとに有難いことでみんな大感激。

・レコードを出した昨年は5月と9月に有馬キャンペーンショウ、5月は神戸まつりに出演、10月には神鉄会館でディナーショウと忙しくなったね。

・本業もあるからまさに「ヒマナシ」だ。(笑)

・デビュー以来プロデュースしていただいているのが、神戸のター坊・松江和耶さん、いろいろお世話になつて

います。

5月に「東門ブルース」のレーベーカラオケ発売!!

・「東門ブルース」は、メロディも簡単で歌いやすいので、久しぶりに神戸三宮の歌をみんなで歌おうと…

・これには、地元の関西信用金庫の田端理事長さんが、たいへん力を入れてくださってヒマナシ4後援会長、「東門ブルースを流行らせる会」委員長で頑張っていただいています。

・東門商店街のみなさんも、バックアップしてくださるとか…

・成結25年目でレコードがだせたのも、いわば強力な仕掛けのおかげだ。

・作曲の竹田喬氏、神戸のター坊・松江和耶氏、漫画家の高橋孟氏、そして関西信用金庫理事長の田端基宏氏…そして知人友人のみなさんのおかげです。

・みなさんの期待に応えてこの東門ブルースを是が非でもヒットさせなければ…

・がんばりましょう。

メリケンパーク

潮風が心地よく髪に靡くこの季節。海が無性に懐しい…。シングルでふらりと訪れるのも気持ちがいいし、ペアで行くのも愉快、嬉しい。よく晴れた日の休日、のびやかにスキップ気分でウォーキング。

スタート・ポイントは人の切れのない三宮エリア。暇ついの流れに逆って北西へ。次第に人込みは遠ざかり、隣接したビルの間から青空が見えだす。躰全体をのびやかに…。軽やかな足どりはスキップ気分、4月の気持ちのいい休日。

そろ潮風が香り、港風景に包まれ始める。

△神戸ポートタワー
&
△神戸海洋博物館



港神戸のシンボル、ポートタワー。高さは108mたが、突堤があるので港神戸が見渡せ、夜景が美しいのはさすが。一方、隣接する神戸海洋博物館は、帆船の帆と波がシンボライズした白い鉄筋の未来ゾーン。神戸港を様々な角度から分析、展示しており、恋愛志、家族づれで巾広く楽しめるので大好評。月休

☎391-6751 (両館共通)

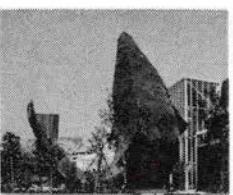


ルート2をクロンシ、メリケンパークへ…。一昨年、神戸開港120周年の折に“メリケン波止場”と“中突堤”の間の海面を埋めて出来上がったこの公園もようやく緑が芽吹き、人が集い、“ぬくもり”を感じられる場所となつた。青空と海が手に入いる——それだけで、このあたりまで来ると、そろ



面白く、愉快なエリアになつた。

とした時が過せる。(AM 9:00
PM 8:30・日休)



ボンヤリ

海を眺める人、スケボー
ーに熱中する中学生、
波光きらめく水平線を

見つめるカツブル。メリケン・マント・ウォツチングも楽しいが、量色のウォツチングとなると双胴胸速クルーザー「くいーんろっこ

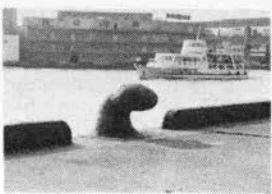
戸港を様々な角度から分析し、解りやすく展示してあるので、気軽に
に入館できる。(AM10:00~P
M5:00)



ポートタ

ワードの隣りには、帆船と波をイメージした白いラインが詰がある。神

埋蔵したタイムカプセルがある。開封は2017年。そのとき、K.O.B.Eはどんな姿をしているのだろう…。



チャレンジント

海からの散歩。海沿いに街が広がる。おなじみのKOBE風景に赤い絵具をとおすように鮮やかに浮ぶ神戸ポートタワーは、KOBEのレッド・シンボル。港KOBEが見渡せる眺めはバツグン。のんびり



神戸中空突から瀬戸内海をV・I・P気分でクルージングできる双胴高速クルーザー“くいーんろっこう”。コースはA=淡路島一周コース、B=大阪湾周遊コース、C=神戸港外周遊コースと1日3便の3タイプ。●問い合わせ先 淡路フェリーポート ☎333-6700

海洋博物館をあとに、公園の中へ…。芝生に寝ころんで「うーん」とのびをするのもいい。観光船、タンカー、大型客船、いろんな船が目前を行き交い、海と空の間を見え隠れする。東の方に、真中に穴のあいた石碑がある。K.O.B.E.の映画発祥を記念して建てられた映画の記念碑。ボツカリと、さらに東へ行くと、1987年に

プランチも魅力。
夕暮れに染まるメリケンはナイトポートの表情に変わる。柔かな光に輝くポートタワーがウォーリングのおわりをつげた。



夕暮れに染まるメリケンはナイ
トボートの表情に変わる。柔か
な光に輝くボートタワーがウオ
ーキングのおわりをつげた。



この秋WFFを成功させよう
ファッショニズム文化は神戸から

ファッショニズム文化は神戸から

KFK

神戸婦人子供服小売商組合

事務局/〒650神戸市中央区西町36 三菱信託銀行ビル8F
ファミリア内 電321-0345

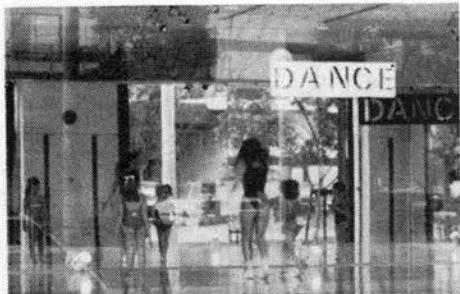
㈱ファミリア	データ館	㈱川村商店	㈱美登利屋
㈱アカシヤ	㈱東京屋	㈱コール	ラ・モード洋装店
㈱ウインザー	㈱サロンデ・モード中西	㈱コマツヤ	㈱リザ
日本モード	パリーモード	㈱S A I J O	㈱マミーナー
㈱ペニヤ	㈱マキシム	サブ靴店	㈱そごう神戸店
㈱ブティック・セリザワ	㈱まさ	㈱春貴洋装店	㈱大丸神戸店
マスヤ㈱	㈱ミッチャン	㈱大学堂眼鏡店	㈱阪急百貨店神戸店
㈱ミヤムラ	㈱アオイ	モードショップトライ	㈱三越神戸支店
㈱マルダイ	石崎商事㈱	㈱日欣洋装	㈱ダイエー
㈱芸夢	㈱エスター・ニュートン	マミー㈱	㈱シンワ洋装店
㈱三愛神戸三宮店	㈱ソニープラザ	年 マルトシ	㈱スギヤ

年 マルトシ

㈱大丸神戸店	㈱阪急百貨店神戸店
㈱そごう神戸店	㈱三越神戸支店
㈱ダイエー	㈱シンワ洋装店
㈱スギヤ	神戸地下街㈱

感性の生きる街 神戸ファッショントウン

11月 華やかにグランドオープン



KFT

神戸ファッショントウン協議会

㈱アオイ

㈱アシックス

㈱アバン

上島珈琲㈱

㈱大月真珠

㈱オールスタイル総本社

カイタック㈱

ガデリウス不動産㈱

カワノ㈱

㈱キムラタン

㈱キヤラバン

㈱キャン

㈱神戸ヒラコ地所

㈱神戸鳳月堂

㈲コスモボリタン製菓

コナミ工業㈱

㈱ジェルベ

㈱ジャヴァ

㈱シャルレ

㈱ジュン

田崎真珠㈱

東亜特殊電機㈱

(協)ニッポンインテリアチェーン

ヌートリメティックス・Int. ㈱

㈱ノエビア

㈱バーレ

ファッション工学研究所

㈲フジイエンタープライズ

フジコ㈱

メイワ㈱

㈱モードオリオン

モロゾフ㈱

㈱ユーハイム

㈱リオ横山

㈱リッチガール

㈱レモン

㈱ワールド

※

㈱神戸ポートピアホテル

㈱ダイエー

三井不動産㈱関西支社

三菱地所㈱大阪支店

■事務局/〒650 神戸市中央区港島中町6-1

神戸商工会議所会館6F 電 (078) 303-2360

経済ポケット ジャーナル



グルメはメディアだ

WFFグルメシンポ開催
この秋、京阪神3都市で

開催するワールド・ファッショント・フェア(WFF)。

そのプレイベントとして、KOBEGルメシンポジウムが3月16日、神戸商工会議所神商ホールで開催された。

明治の開港以来、外国貿易港として、海外の生活文化をいち早く取り入れてきた神戸。「食」においても、和・洋・中を問わずバラエティに富んだ料理を身边に味わうことができる。

今回の催しは、神戸の特

徴を活かし、グルメは単に「食」にとどまらず、食文化、生活文化などの情報を凝縮したものとも新しい情報

報—メディアであることを再認識するために開催、今後の神戸の食に対する提言をした。トーケセッションの中で、伝承料理研究家の奥村彪生さんは、「これから

のグルメ都市は神戸です。和・洋・中の合体による新しい神戸の料理に期待したいですね。」と、しめくくつた。



★KOBEGルメシンポ開催

隼

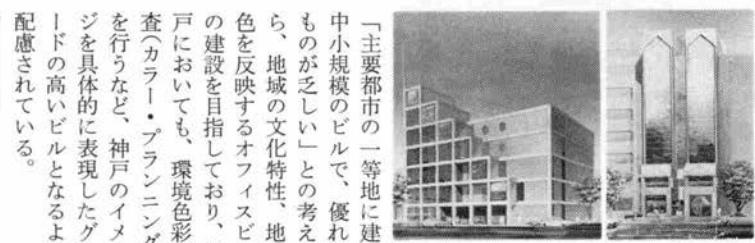
神戸サントビア勤務

奈奈さん(24)

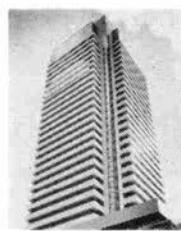
春風が似合う爽やかな笑顔、大きな目がとってもチャーミングな彼女。ショールームでOA機器のデモンストレーターとして活躍している毎日。

休日はミュージカルを見に行ったり、スポーツ観戦をしたりと行動的。特にラグビーの試合には熱が入るとか。そんな彼女の将来の夢は、ニュージーランドのような広々としたところでのんびり暮らすことだそうだ。

加古川市在住。おとめ座のA型。



琴ノ緒町ビルと伊萬町ビルの完成予想バース



6月に間もなくオープン

★ホテルオーラ神戸竣工

メリケンパークにかねて

より建設中であった、ホテ

ルオーラ神戸(大石邦雄

社長)が五月十二日(金)に

竣工式を迎える。

ホテルオーラ神戸二十五周年記念事業の一環として、市場としての魅力も大きい神戸に、東京以外で初めてホテル進出することになるホテルオーラの高級イメージと、海と山に囲まれた神戸のリゾート感覚を合わせた同ホテルの目玉は地元、地域の文化特性、地域色を反映するオフィスビルの建設を目指しており、神戸においても、環境色彩調査(カラー・プランニング)を行うなど、神戸のイメージを具体的に表現したグレイドの高いビルとなるよう配慮されている。

「主要都市の一等地に建つ中小規模のビルで、優れたものが乏しい」との考え方から、地元の文化特性、地域色を反映するオフィスビルの建設を目指しており、神戸においても、環境色彩調査(カラー・プランニング)を行うなど、神戸のイメージを具体的に表現したグレイドの高いビルとなるよう配慮されている。